

## 令和6年度 第2回 秋葉区自治協議会 会議概要

日 時 令和6年6月25日(火) 午後1時30分から午後3時45分まで

会 場 秋葉区役所6階 601・602 会議室

出席者 【委員（名簿順）】

小山委員、小菅委員、加納委員、菅井委員、佐藤委員、坂口委員、吉田委員、今井委員、青木委員、板井委員、甲田委員、飯村委員、若月委員、佐々木委員、森田委員、荒井委員、吉川委員、稲垣委員、中島委員、渡邊委員、山崎委員、五十嵐委員、田中委員、平田委員、横山委員、大貫委員、齋藤委員

計27名（欠席 村上委員、吉川委員）

【新潟市・秋葉区役所】

区長、副区長（地域総務課長）、財務課職員、区民生活課長、健康福祉課長補佐、産業振興課長補佐、建設課長、小須戸出張所長、秋葉消防署長、新津図書館長、新津地区公民館長、教育支援センター所長、秋葉区農業委員会事務局長

事務局 地域総務課職員7名

傍聴者 1名

報道 0名

内 容

### 1 開会

第3部会 佐々木委員よりあいさつ

### 2 議事

#### (1) 区政運営にかかる評価について

- ・長崎区長より、年度当初に策定した区組織目標の方針に基づき、各課の組織目標に掲げた重点目標の指標における達成状況の報告、そして今後の方針について報告がありました。
- ・森田委員より、地域総務課の目標に掲げている移住コンシェルジュへの相談件数の調整、整理を行ってほしいとの意見があがりました。

資料1 区制運営にかかる評価について（参考意見聴取）

### 3. 報告

#### (1) 公の施設に係る受益者負担の設定基準について

財務課職員より、公の施設に係る受益者負担の設定基準について資料に基づいた説明

がありました。

- ・青木委員より、コミュニティセンターは本件の対象外なのかどうかという質問ができました。また、受益者負担の設定基準が令和 6 年 3 月に策定されたがここまで説明がなかったのはなぜか、という意見が上がりました。
- ・荒井委員より、公の施設に係る統一的な基準がこれまでなかったのはなぜか、という質問が出ました。また、市民の方より文化会館の使用料が高くて課外活動に取り組むことが難しいという意見が上がっていることから、受益者負担の料金が値上げすると困る、という意見がでました。
- ・加納委員より、スポーツ施設は本件の対象外なのか、という意見がでました。
- ・坂口委員・佐藤委員より、「利用料」と「使用料」の区別が不明確で分かりづらいとの意見が出ました。料金の見直しをするのは使用料のみかどうか、という質問が出ました。
- ・佐藤委員より、学校施設は本件の対象になるのか、という意見が出ました。
- ・森田委員より、各スポーツ施設へ直接区役所が担当職員に説明に伺ってほしいとの要望を受けました。
- ・中島会長より、8 月の本会議で秋葉区内の対象施設における具体的な金額のシミュレーションを行ってほしいとの要望があがりました。

資料 2 【概要版】公の施設に係る受益者負担の設定基準

(2) 教育委員会の主な事業について

教育支援センター所長より、令和 6 年度の教育委員会予算の概要について説明がありました。また 7 月に秋葉区内の 6 校の中学校を対象とした校長会を開き、秋葉区の現状や課題について情報共有を行う機会を設けているとの連絡がありました。

- ・森田委員より、中学校のためのクラブ活動支援の内訳を知りたいという意見が上がりました。
- ・渡邊委員より、特別支援教育や個別の教育支援計画が引き継がれていないという現状報告があり、生徒一人一人に対する切れ目のない支援を望むとの意見が上がりました。
- ・青木委員より、地域と一体になった学校づくりとして、地域で休日に開催されるイベントにも学校側をゲストとして呼ぶことは可能か、という質問がでました。
- ・中島会長より、中学校のための地域クラブ活動支援に関して、令和 8 年度からの部活動の全面廃止が果たして本当に実現可能なのか、もし実現が困難ということであれば、地域がどのように向き合っていくべきかということを経営推進室から説明をしてほしいという意見が上がりました。

資料 3 令和 6 年度教育委員会予算概要

(3) 秋葉区地区懇談会の開催について

高橋副区長より、地域課題の解決そして地域づくりの推進のために、きたんなく意見交換会を行いたいという報告がありました。

・坂口さんより、人口減少問題が課題としてあるが、課題の解決に向けて働き手を増やすために企業の誘致に力を入れるべきではないか、という意見が上がりました。

資料4 令和6年度秋葉区地区懇談会の開催について

(4) 区ビジョン街づくり計画第1次実施計画の進捗について

高橋副区長より、目指す区の姿に基づいて達成度を図り、中間報告を行っていくとの報告がありました。

・森田委員より、自主防災組織の育成事業で結成世帯率が高いことは素晴らしいことであるとのことから、100パーセントになるよう今後も力を入れてほしいとの意見が上がりました。

資料5 秋葉区区ビジョンまちづくり計画第1次実施計画進捗状況

(5) 秋葉区体育施設におけるアスベストの検出について

高橋副区長より、アスベストの検出が市内2施設で見られたとの報告がありました。

資料6 秋葉区体育施設におけるアスベストの検出について

4. その他

(1) 部会活動報告

①第1部会

加納部会長より、きらめきサポートプロジェクトの進捗状況について報告がありました。今年度、6団体から応募があり、6/25(火)秋葉区自治協議会本会議終了後、一次審査を行うとの連絡がありました。

②第2部会

青木部会長より、6/1(土)に開催された金津セレモニーについての報告、また4/27(土)に開催された防災講演会のアンケート集約結果について報告がありました。

③第3部会

佐々木部会長より、もち麦部門、居場所部門、トレッキング部門の各部門ごとの進捗状況について報告がありました。居場所部門については、新津中央地域交流センターにて行っている居場所づくりに参加をしたとの報告がありました。今後は、各コミュニティ協議会でどんな居場所づくりに取り組んでいるのか実態を調査しながら進めていくとの報告がありました。

④広報部会

森田部会長より、7月=10月期のFMにいつの出演者と内容について報告がありました。

かわら版について、9月に発行する35号の内容について報告がありました。また、いっつ松坂流しの練習会について、7/30本会議前の30分前ほど設けて行うとの連絡があり、各委員へ参加呼びかけを行いました。

## (2) その他

長崎区長より、秋葉区内を走る3路線のバスについて昨年より4,5月の収支率が良いとの報告を受けました。

長崎区長より、中高生・若者の居場所づくりについて、7/24のオープンに向けて今後2回ほど実行委員会での打ち合わせを重ねていくとの報告がありました。

・高橋副区長より、新津地域交流センターの駐車場拡張について、今後実証実験を行い需要を調べるとの報告がありました。今年度9月からの利用開始を目指して取り組んでいくとの報告がありました。

## 5. 閉会

※詳細については、後日改めて掲載します。